



▲心が通じ合える安全のまわりの気持を込めてたすき授与式
▲たすき受け声かけ決意の先発町の皆さん
▲室町松原で声かけ開始子どもたちの笑顔

修徳公園でスタート

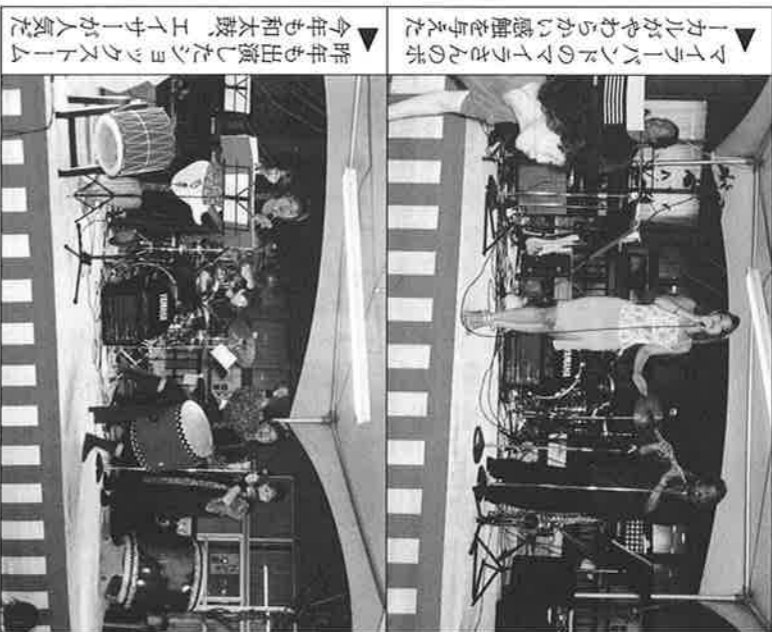
修徳学区が、「地域安心安全ネット」の「モデル地域」に選ばれた地域(学区)の皆さんが、ほんとうに、安全な地域と実感し、安心して暮らせるまちにするきっかけになる具体策は、9月28日午前7時30分、修徳ため、「修徳声かけ愛のたすき」安心安全推進活動を成功させる

修徳声かけ愛のたすきリリース

告郷と「活動報告用のイベントカメラ」が、それぞれスマートフォンが、それぞれ式が終わると、各4町内はそれぞれの町内へ戻り、初日の声かけ運動を実施した。「おはようございます」「声をかけると、同じように、通行する人たちのあいさつや、通学児童からの笑顔が返ってきた。うれしかった。

ジャズと和太鼓の競演 in 修徳

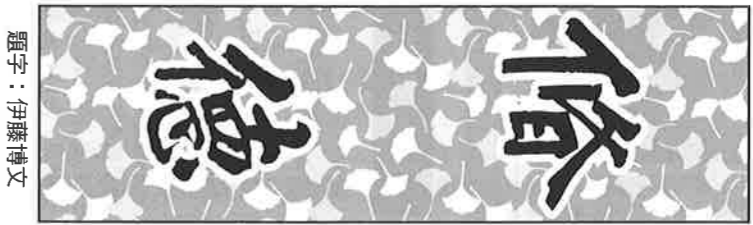
今年の『サマーナイト in 修徳』は、徳万町の通りに加えて万寿寺通も歩行者天国となり、子どもたちの遊びの場が広がった。フレイ



▲「マイラーバンドのマイエさんのホッカルがやわらかい感触を与えた」
▲「今年も和太鼓、エイサーが人気だ」
▲「昨年にも出演したシヨウクストム

修徳公園の周り全部が歩行者天国になったので子どもたちの「飛び出し」める会場の準備は、すべて生オケのリハーサルに、今年もあつ夏の祭

ステージもお店も会場すべて魅力 3枚のバック幕サマーナイト飾る



題字：伊藤博文

会合会 夫之 常宏 井西 美智子 編集責任者 小南 草美子 印刷



毎年、社会福祉法人 下京区社会福祉協議会から助成金をいただいて、広報紙作成の一助にいたしております。

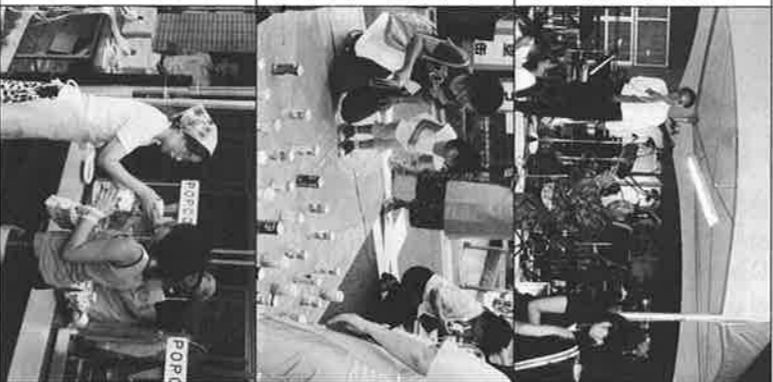
度新調のバック幕が加わり3枚のバック幕が見つ典が始まる。子どもたちの「飛び出し」める会場の準備は、すべて生オケのリハーサルに、今年もあつ夏の祭

フリビンバンド エスニック国際色

呼んだ。3人のフリビンバンドで、「フレイクストム」も招き、国際色ツインバンドとなった。修徳旗の掲揚が始まる女性のアイスランド、男性2人が管楽器とシンセサイザーを担当している。得意な演奏はアメリ

修徳旗の掲揚が始まる女性のアイスランド、男性2人が管楽器とシンセサイザーを担当している。得意な演奏はアメリ

修徳旗の掲揚が始まる女性のアイスランド、男性2人が管楽器とシンセサイザーを担当している。得意な演奏はアメリ



▲「今年はじめのホッカル」
▲「万寿寺ホッカルで子どもがのびのび遊ぶ」
▲「下京区長岡本晋さん

の演技だけではなく、会場盛り上げていった。アトラクションの意味は、魅力でひきつけることであるが、スライジのうえの演技だけではなく、会場盛り上げていった。アトラクションの意味は、魅力でひきつけることであるが、スライジのうえ



▲今年はじめのホッカル

和太鼓は、和洋を調和を幅広させて終わる。子どもたちと女性会、児童館の先生たちの熱気で盛り上がる盆踊りにつると、模擬店のあたりで、



▲「夏も暑い鉄板も熱い。熱い人気も高い。徳万町ホッカル」
▲「カキ氷付たい人気

見ても読んでもわかる 文部科学省認定 漢字資料館

漢字が好きな子どもと大人まで楽しく遊びながら学べる体験型の資料館です。

漢字を核に子どもから大人まで楽しく遊びながら学べる体験型の資料館です。

漢検本部2階

開催 1月30日(日) 19日(日)

200 回 日本漢字能力検定協会

社会福祉法人 京都福祉サービス協会 高年齢福祉施設 修徳

京都市下京区新町通松原下る富永町110-1

特別養護老人ホーム

シヨートステイ

デイサービスセンター

在宅介護支援センター

児童館

サマーナイト in 修徳 推定参加人員

修徳学区	750名
洛央校区	250名
その他	680名
合計	1,680名

アンケート回答数、シール貼付数から推定

* 模擬店券の前売り当日売り金額から推定と合致した。

児童館の先生方の合唱など

女性のアエツト、見

ハフニングであった。

感情がこみあげてきた。

広場である。感涙に近い

しさとふれあいの共感の連

つたの踊りと跳躍の連

まぎに、1600人の集

修和会

戦後の発展を支えた世代にエール

創立30周年記念式典を祝う

研鑽積んだ演芸で祝意表わす

■ 豊かな『修和会創立30周年記念式典』が脳裏をはなれなかつた二半年、何度も何度も、協議と相談を重ね、満を持してきた。その日が、いよいよやってきた。

人とも、何まなかつた戦後の復興の時期から、緊々として、高度成長の時期と備えて高度成長の時期の発展を支えてこられた。会場はその格調高い舞い姿に、偶然として最高の充実感を味わった。

第1部 式典

式典の司中谷隆亮さんを申しあげます」と、われわれへのエールとなる最大の賛辞を贈っていた。最初は、有隣之ジヤシヨだ。朱色のマジックの字を描いた白布で祝ったかと思うと「ごんを食べる現実に戻つたり



▲ 修和会「鶴亀」で修和会30周年記念式典を祝う名取山岸春子と格調高い若柳流の祝舞



▲ 修和会創立30周年記念式典で修和会会長山岸春子さんの祝辞



▲ 修和会創立30周年記念式典中村会長挨拶

民生児童委員会

上寿のお祝い

満100歳
おめでとーございます
山上トメさん (月見)

9月14日(火)10時30分から、上寿をお祝いし、株式会社長と小泉首相からの表彰状と記念品が岡本下京区長から渡された。山上トメさんは、しつかりした応対で、たいへんお喜びだった。



▲ 修和会創立30周年記念式典で修和会会長山岸春子さんの祝辞

第2部 演芸

式典を締めくくったのは山岸春子女性会副会長が熱演に、拍手が続いた。次は尾本茂郎さん(弁財天の詩吟「京の月」で、会場の隅々まで心洗われた。三、四番目は、まち



▲ 修和会創立30周年記念式典で修和会会長山岸春子さんの祝辞

青木	尾金三郎	宮川孝之助	下田直子	松本好子	今井義郎	青木一雄
近森みき	尾金三郎	宮川孝之助	下田直子	松本好子	今井義郎	青木一雄
中島チヨル	尾金三郎	宮川孝之助	下田直子	松本好子	今井義郎	青木一雄
中島チヨル	尾金三郎	宮川孝之助	下田直子	松本好子	今井義郎	青木一雄
中島チヨル	尾金三郎	宮川孝之助	下田直子	松本好子	今井義郎	青木一雄



▲ 修和会創立30周年記念式典で修和会会長山岸春子さんの祝辞

標識を再確認

修徳シルバニア交通安全教室

平成16年9月20日敬老の日に、修徳交通対策協議会は、恒例の『修徳シルバニア交通安全教室』を、五条署の巡視員連手係長と中山さんにご指導いただきまして、



▲ 修徳交通対策協議会主催の交通安全教室



▲ 修和会創立30周年記念式典で修和会会長山岸春子さんの祝辞

しながら、退場を見送った。司会の私、都督の声も、歓声にかき消された。岩井さん、中村部長、吉川さん、川上さん



▲ 修和会創立30周年記念式典で修和会会長山岸春子さんの祝辞

が、あがる雰囲気ななか、玉虫力東部部長がユ一モラスに無事の閉会を宣言した。ここに、やむなく出席できなかった会員の皆さまの健康と長寿をお祈りしたい。

修和会 都督 昭蔵 中村部長



▲ 修和会創立30周年記念式典で修和会会長山岸春子さんの祝辞

総合防災訓練

修徳公園サバドル訓練
5項目の新訓練企画
学区民の適応能力に感心

一時避難所である修徳公園から梅小路公園の最終避難所へ行く段取りができたとしても、道路事情によっては、到達が危ぶまれる事態も想定しなければならぬ。一時避難所で避難生活するには、どうすればよいか。これが、今回の防災訓練の課題である。

「煙体験ハウス」が新のかどうかなど、不安にのしかかっていた。暗が現実味を帯びさせてくれ「出られんか思った子どもが咽ごえた



安否情報を伝言板に書く、手馴れてきた



一時避難所で生活する場所が必要な時、有り合わせのサバイバルカに感心する

避難できていない人を防ぎつつ確認する

新しい訓練企画の一つ目は、公園の東入口、布の防災マツの「避難所」で、避難してきた人たちの確認

修徳公園サバドル訓練

ない人たちを確認できる。今年度の重点項目は、本年度の最重要項目になる。自治連合会倉庫にある有り合わせのものが一時避難所で生活する『家』や設備をつくる。運び出された古いバック

と、実行力のある学区だ。また、3日間の生活にかかせない物資を持ち出すことを再認識するため、「非常持出袋」を展示した。

新しい訓練企画の3つ目は、ペットボトルと紙

新しい訓練企画の3つ目は、ペットボトルと紙



避難住長の相談窓口 心身面への対応必要

新しい訓練の4つ目は、各



二毛

野外映画会

主催 少補 後援 鳥丸ライオンズクラブ

子ども向けの映画は『フアンデンダイナミック』というダイナミック映画だ。二毛は学校へ行つたばかりのシド、学校の遠足(釣りで南赤道海流の辺り、シド二毛から来た約りに人に捕まってしまう。父親がシド二毛の魚(?) ドリリーと会い、疑ったりで、信じたりしながら冒険する。ドリリーは、人間でいいえ、変わり者に人に信用されないが、勘と判断のよさがかくれた才能だった。ついに、海ガメの通路東オーストラリア海流を見つづける。一方、二毛の囚わられているシド二毛は、魚をもらいにいく悪ガキがすぐ死なせられる。水を汚して入れ替えの脱走計画をうたなど、いろいろな試みに二毛も率先して参加する。ついに自力で逃走する。成長した二毛がシド二毛の海で父親と再会する。(編集子)



(上) 雨で室内に、開会を待つ子どもたち (下) 二毛の父親が海がめに海流を聞く

1、キャンプイヤー、



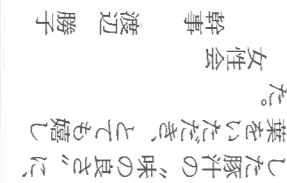
少年補導委員会の夏のキャンプは、子どもたちから期待されている。子どもたちが健全に育つてくれる環境づくりに協力している。子どもたちが健全に育つてくれる環境づくりに協力している。

少年補導委員会 水遊び 泊キヤング 子と大人 一体感

潜在能力も、実際に参加していただければ顕化する。学区の防災力を

現場で豚汁調理

女性会給食訓練



女性会 幹事 渡辺 勝子